

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E1140002		知的障害児の心理・生理・病理 (Psychology,Physiology, and Pathology for the Children with Mental Retardation)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	2	2(本免)・3(副免)	教育学部	前期	水3	日本語				単独					
担当教員	氏名 衛藤 裕司 E-mail eto@oita-u.ac.jp 内線 7537														
授業の概要	知的障害のある児童生徒の心理・生理・病理に関する基礎的な知識を学びます。特別支援学校だけでなく、特別支援学級（知的障害）に在籍する児童生徒もその対象としています。これらの子ども達の行動や様子を心理学的及び生理・病理学的に理解できるようになるのがゴールです。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	知的障害のある児童生徒の行動を心理学的観点から説明できる。							○	○						
目標2	知的障害のある児童生徒の教育に必要な疾病や病理に関する基礎知識を得る。							○	○	○					
目標3	知的障害のある児童生徒が関係する療育等について、その概要を知る。								○	○					
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度（計10）								2	6	2					
授業の内容															
1 知的障害の概念，診断基準（病理）															
2 知的障害の原因：胎生期・周産期・出生後の異常による知的障害（病理），染色体異常・代謝異常による知的障害（病理）															
3 知的障害の併存症：知的障害の運動発達															
4 知的障害の合併症：知的障害と精神障害（病理・生理），知的障害とてんかん（生理）															
5 知的障害と問題行動（心理・病理）															
6 知的障害のある児童生徒の視知覚（心理・生理）															
7 知的障害のある児童生徒の聴知覚（心理・生理）															
8 知的障害のある児童生徒の運動発達（心理）															
9 知的障害と注意の機構と機能（生理・心理）															
10 知的障害のある児童生徒の言語発達・機能（心理・生理）															
11 知的障害のある児童生徒の記憶（心理）															
12 自閉症のある知的障害 1（病理 付随しやすい特性を含む，生理，心理）															
13 自閉症のある知的障害 2（応用行動分析の視点からの行動理解）															
14 知的障害のある子どもの療育（言語聴覚療法，感覚統合療法，応用行動分析 他）															
15 自立活動：個別の指導計画における児童生徒の実態把握，家庭・専門機関との連携															
ラ イ ク ニ ン グ	A:知識の定着・確認		○	1．シミュレーション課題 - 1)教師役，2)知的障害のある児童生徒役			工 夫 そ の 他 の	観察記録の活用							
B:意見の表現・交換		○	，3)記録係，4)分析相談役で構成されたグループ編成を行い，Matching												
C:応用志向		○	to Sample課題をシミュレーション的に実施し，記録結果の分析及びエ												
D:知識の活用・創造		○	ラー対応の指導方法の考案を行う												
				2．小テスト											
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		前回の授業の知識の定着を確認するための小テストの試験準備をする（15時間）												
	事後学修		配布資料の復習（15時間）， 授業内容のまとめの作成（15時間）												
	想定時間合計		45												
教科書		プリントを配布する。													
参考書		1．「特別支援児の心理学 理解と支援」梅谷忠勇・堅田明義・生川善夫（編）北大路書房 2015年 ISBN:978-4762828928． 2．「教育支援資料 - 障害のある子供の就学手続と早期からの一貫した支援の充実 - 」2013年 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 文部科学省ホームページ https://www.next.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250.htm													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	小テスト（心理学的説明）	20%	○	○								
	小テスト（生理・病理学的説明）	20%		○								
	小テスト（療育等説明）	10%		○								
	テスト（行動・様子の分析）	50%			○							
注意事項	1 準備：A 4 の紙ファイル（A 4 縦使用）を1つ購入しておくこと。 2 欠席：指定された「欠席届け」を事前に提出すること（3 日前まで）。病気等，やむをえない欠席を除き，事後提出は認めない（病気等の場合，復帰後2 週間以内に，証明できるもののコピーを提出すること）。											
備考	配布されたプリントは，毎回，A4 ファイルに必要な資料等とともに綴じておくこと。 特別支援教育コース以外では，副免申請許可を得た者のみ受講できる。											
リンク	「教育支援資料 - 障害のある子供の就学手続と早期からの一貫した支援の充実 - 」文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 文部科学省ホームページ URL https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250.h											
教員の実務経験	スクールカウンセラー											